

海外安全対策情報（2018年4月～6月）

1 社会・治安情勢

イースターホリデー期間中（3月30日～4月2日）に全国で11名が死亡する事件が発生しました。また、同期間中だけで241名の犯罪容疑者が逮捕されました。

当地では、薬物を使用する者が増加傾向にあります。最近はコカインの密輸に関与した容疑者（ウガンダ、イタリア、セルビア、ナイジェリア、米国、ソマリア、アンドラ、トルコ国籍者等）がエンテベ空港で逮捕されました。

6月8日19時半頃、アルア県の国会議員アビリガ氏が銃撃される事件が発生しました。同氏は、大統領年齢制限撤廃を強く支援していました。

2 一般犯罪・凶悪犯罪

（1）盗難・強盗事件等

ア 邦人被害事案

○5月、住居侵入被害が2件発生しました。

イ 邦人以外

○ウガンダでは、車両盗難事件が増加しています。

2015年 65件

2016年 516件

2017年 589件

（2）殺人事件

○ワキソ件（Wakiso）

4月16日、エンテベ地区メンゴ・看護学校の男子学生が何者かに殺される事件が発生しました。

5月4日、エンテベ地区にて、2名の男性が女性から鞆を盗もうとした際に、暴力により女性を殺害する事件が発生しました。

○カンパラ市（Kampala）

6月19日、マケレレ大学の近くで、男性の死体が発見されました。事件は警察により調査中です。

○カンパラ市及びワキソ県では、誘拐と殺人事件の増加により、過去1年以内に100名以上の女性及び少女が殺害又は誘拐されています。また、UNHCRの犯罪レポートによると、2017年2012件（2016年175件）の殺人事件が認知されています。

（3）強姦事件

邦人が被害に遭ったとの情報には接していませんが、ウガンダにおいては強姦事件が深刻な問題となっています。また、被害者となる女性の大半が未成年者であり、近親相姦が頻繁に発生しています。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していません。しかし、ウガンダ政府は近隣国ソマリアの治安向上を目的にアフリカ連合ソマリアミッション(AMISOM)に自国軍を派遣し、ソマリア武装テロ組織「アル・シャバーブ」に対する掃討作戦に参加しています。このため、同組織はウガンダへの反発を強めており、しばしば当国を名指しで報復する旨発言していることから、引き続き注意する必要があります。

また、シリアやチュニジア、バングラデシュで発生した日本人が殺害されるテロ事件をはじめ、ISIL（イラク・レバントのイスラム国）等のイスラム過激派組織又はこれらの主張に影響を受けた者によるとみられるテロが世界各地で発生しています。したがって、日本人・日本権益がテロを含む様々な事件に巻き込まれる危険があることから、このような情勢を十分に認識して、誘拐・脅迫・テロ等の不測の事態に巻き込まれることがないように、渡航情報及び報道等により最新の治安・テロ情報等の関連情報の入手に努め、日頃から危機管理意識を持つとともに状況に応じて適切で十分な安全対策を講じるよう心がけてください。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が誘拐・脅迫される事件は発生していません。しかし、ウガンダにおいては人身売買および身代金を目的とした誘拐事件が多数発生しており、既に、今年に入ってから100件以上の誘拐事件が発生しております。特にカンパラ市中心部のオールド・タクシーパークや時計台付近で発生しています。

邦人が巻き込まれる可能性も否定できないため、滞在中は警戒を怠ることのないよう十分注意してください。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

対日感情が良好なこともあり、日本企業であることを理由に標的とされる可能性は低いですが、上記「テロ・爆弾事件発生状況」のとおり、テロが世界各地で発生していることを踏まえれば、日本人・日本権益がテロを含む様々な事件に巻き込まれる危険も排除できませんので、十分注意のうえ安全対策を怠らないよう努めてください。

以上